

開会のあいさつ

報告「越境地域政策研究の現状と展望」

川井 伸一氏（愛知大学学長）

戸田 敏行氏（愛知大学三遠南信地域連携研究センター長）

日 時：2017年1月28日（土）10：00～12：00

場 所：愛知大学豊橋校舎 記念会館 3F

○司会：ただいまより、愛知大学三遠南信地域連携研究センター主催、2016年度「越境地域政策研究フォーラム」を開催いたします。開催に先立ちまして、本学学長の川井伸一より、皆さまにごあいさついたします。

○川井：ご来場の皆さま、おはようございます。愛知大学の川井でございます。本日は、ご多用中のところ、セミナーにご出席していただきまして大変ありがとうございます。

チラシにもありますが、本年、2016年度は第4回の「越境地域政策研究フォーラム」ということでございます。2016年度ということで、特に指摘させていただきますと、今年度は愛知大学の創立70周年でございます。1946年11月、終戦直後と言ってもいいですが、この豊橋の地で愛知大学が創立されました。その創立の建学の精神の一つとしまして、地域の文化振興、地域の社会への貢献がうたわれております。以来、愛知大学は建学の精神を踏まえて、教育研究活動に取り組んできました。その一環として、2004年に、本センターの前身である三遠南信地域連携センターが創立されました。幸いに、その後、文部科学省の「共同利用・共同研究拠点プログラム」に採択されまして、こんにちに至っております。

このプログラムは、6年間というプログラムでございます。その意味で、愛知大学は、地域連携もしくは地域文化社会への貢献を重要な施策の柱の一つとしております。

近年、「地方創生」政策の下に、それぞれの地域の活性化、創生への取り組みがなされているかと思えます。この研究センターは、そうした政策との関わりが深い

わけですが、県境などの行政境界を跨いだ越境地域の振興という観点を打ち出しております。今回のセミナーでも、そのような観点から地域振興の在り方を検討いたします。

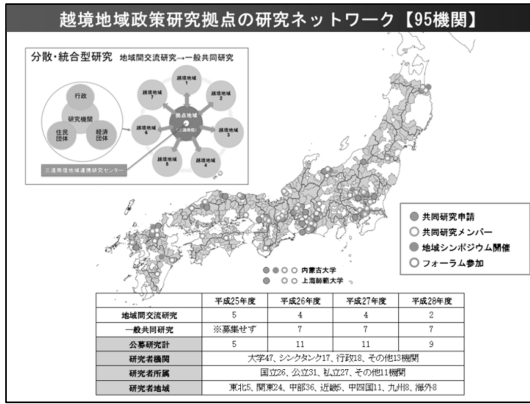
ポスターを見ますと、多様な内容であり、講演の方、報告者の方、そしてコメンテーターの先生方をあわせると35名前後になるということです。分科会では五つのテーマに分かれて、それぞれ議論を深化させるという積極的で、内容豊富なセミナーではないかと考えております。

本日は、学内の研究者はもとより、学外の研究者の方々、関係者の方々のご臨席を賜っております。記念講演の大島先生、それから基調講演の長谷川先生をはじめ各分科会でさまざまなテーマで報告される報告者の方々、コメンテーターの先生方に、この場をお借りして厚く御礼を申し上げたいと思います。

このセミナーが、皆さまにとって実りある会となりますことを願いまして、私のあいさつに代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○司会：続きまして、当センターのセンター長である戸田敏行より「越境地域政策研究の現状と展望」として、当センターおよび本フォーラムについてご説明いたします。

○戸田：おはようございます。三遠南信地域連携研究センターの戸田と申します。「越境地域政策研究の現状と展望」につきまして、お手元のパワーポイント資料にもとづき、ご紹介を申し上げたいと思います。



スライド3. 越境地域政策研究拠点の研究ネットワーク

縦軸に三つの研究コア別の研究テーマ、縦軸に、ガバナンス、リスクの管理、産業、生活、情報といった研究分野をとって、個別研究をまとめています。現在、84 ぐらいの研究がなされています。これらから越境地域政策の理論化あるいは具現化に進んでいこうというプロセスを取っています (スライド4)。

共同研究(基盤研究、公募研究)の実施状況:一部重複あり

研究テーマ	研究分野	研究分野				
		ガバナンス(15)	リスク管理(18)	産業経済連携(22)	生活環境形成(15)	情報基盤形成(14)
計画コア (35)	越境地域政策におけるガバナンスの明確化	全国自治体の越境地域政策 (全国:基盤) / 全国超域連携協議 (全国:基盤) / 九州超境地域政策 (九州:公募・基盤) / ブロックレベルの住民意識調査 (関西:基盤) / 越境地域と財政調整 (全国:基盤) / 越境地域政策比較 (九州、三遠南信:公募)		海外の越境政策 (モンゴ地域:基盤) / 中国内モンゴル自治区を中心とする越境経済連携 (中国内蒙古地域:公募)		
	地域維持と創生(生活)	NPO活動(九州:基盤) / 行政評価手法と地域(上信越:公募) / 中国山地の地域再生(中国地方:公募)		外国人高人材の就業支援(九州、韓国:公募) / 産業経済連携(山陰・山陽:公募)		
	地域維持と創生(基盤)	北陸新幹線と地域連携(信越:公募) /	産業物管理(三遠南信:基盤) / 濁りの水質汚染(三遠南信:公募) / 越境医療体制整備(三遠南信:基盤)	高速交通網整備と企業取引(三遠南信:公募) / グートウェイシフトとして地域特性(三遠南信:公募)	移住者と居住(三遠南信:基盤) / 交通弱者対応(九州:公募) / 小地区間交流(三遠南信:基盤) / 地域外移住者ネットワーク(三遠南信:公募) / 越境人材プラットフォーム(信越:公募) / 文化の越境ネットワーク(三遠南信・九州:公募) / 買物行動(三遠南信:基盤)	越境地域とメディア(新聞)(三遠南信:基盤) / 越境と文学(三遠南信:基盤) / 越境地域情報とケールテレビ(西尾部・岐阜:公募) / 越境と歴史文化(三遠南信:公募)
モデルコア (30)	経済モデル構築			越境地域産業連携分析(三遠南信:公募・基盤) / 自動車部品産業の産業転換経済波及(中部:基盤) / 越境地域の空間経済分析(三遠南信:公募)		越境地域産業連携モデル構築(三遠南信:公募・基盤)
	空間モデル構築	越境地域と大型市町村(全国・九州:基盤・公募) / 大都市圏政策(名古屋圏:基盤・公募) / 流域発展づくり(西毛:公募) / 黒地をまたぐ共生圏の創生(三遠南信・東海地域:公募)	大規模災害と後方支援(三遠南信・全国:基盤) / 黒地を越えた復興支援(青森・岩手:基盤) / 遠隔地医療支援(三遠南信:基盤) / 産業物管理(三遠南信:基盤) / 濁りの水質汚染(三遠南信:公募) / シカによる越境被害(三遠南信:基盤) / 環境学習拠点をづくり(鳥取・島根:公募)	プロスポーツ圏(三遠南信:基盤) / 越境観光バス(三遠南信:基盤) / 産業経済連携(北東北:公募) / 地域間連携拠点としての小売業(全国、東海:基盤・有研) / 乳産業の越境性(中国・公募) / モンゴ地域経済連携に関する研究(山陰・山陽:公募)	地域医療拠点としての小売業(全国:基盤) / 越境観光バス路線(中部:公募) / 地域外移住者ネットワーク(北陸:公募) / 越境府政プラットフォームの構築(名古屋圏:新潟・北信:公募)	ソーシャルデータを用いた越境性(三遠南信:基盤) / 情報共有化とケールTV(西尾部・岐阜:公募)
情報コア (18)	境界で分断される地域情報の一元的活用手法の開発			自動車部品産業転換の経済波及(中部:基盤) / 自動車部品産業の空間経済分析(中部:基盤) / 自動車部品サプライチェーンの空間分析(中部:基盤) / 上海ICT産業転換の経済波及(中国:公募) / 中国都市ネットワークにおける上海の影響(中国:公募)		自動車部品企業個々のデジタルマーケティングシステムの構築(全国:基盤) / 自動車部品企業個々のデジタルマーケティングシステムの構築(全国:基盤) / 地方財政データベースの開発(全国:基盤)
	防災データ整備		津波被害の空間分析(三遠南信:基盤) / 自動車産業の災害リスク(中部:基盤) / 岐阜町土砂災害の空間分析(三遠南信:基盤) / 行政庁界を越えた避難者の空間分析(三遠南信:基盤) / 上海市の避難所配置(中国:公募) / 中国沿岸部低地の産業災害リスク(中国:公募) / 南海トラフ巨大地震に対する地域脆弱性の評価と対策検討(静岡・愛知:公募)			災害リスクデータベースの構築(三遠南信:基盤) / 災害因子(防災・津波)、災害発生(人口、社会インフラ、地域産業)と災害脆弱性(避難者、中小企業、産業系サブライティーン)を中心に災害リスクデータベースの構築(三遠南信:基盤)
	基盤データ整備					行政庁界と統計データの統合(愛知:基盤) / オープンデータと機械学習手法を用いた人口推計(三遠南信:基盤)

スライド4. 共同研究の実施状況

対象地域は三遠南信地域だけではありません。当センターでおこなっている一つのフィールドですが、九州の事例です。九州も各県に分かれておりますが、県境地域は中山間の生活が困難なエリアで、経済的にも困難な傾向を持っています。そこで全九州という視点から越境地域に関する調査研究、シンポジウムでの交流などをおこなっています (スライド5)。

共同研究で対象とする越境地域の分布ですが、全国の県境地域や広域的な地域を対象とするもの、海外では中国での「省境」という例もあります。現在、どの程度の研究ネットワークを作っているかということです。共同研究参加が約95機関になっております。日本地図を描いてありますが、北から南までに分布しています。共同研究機関は、各越境地域の大学であったり、行政やシンクタンクであったりします (スライド3)。

これを裏返しますと、全国的に地域政策を越境していこうという動き、越境に課題・可能性を見いだしているということであろうと考えています。

いうこととなります。第3分科会は「越境地域と産業・経済」で産業経済の視点、第5分科会で、歴史的な観点から「越境地域と歴史・文化」での議論を展開いたします。

本日のフォーラムをご活用いただきまして、越境地域政策に対する関心を高めていただくとともに、さまざまなご意見、ご提案をいただければ誠にありがたいと思います。

以上、「越境地域政策研究の現状と展望」に関する報告をさせていただきました。

(以上)